光町広報

創刊号

発行所
光町役場
匝瑳郡光町宮川5.454の5
電話横芝 2423 2424

昭和32.1.1発行

光広報発刊の挨拶

町長　椎名誠一

昭和三十二年の新春を迎えるに当り町民各位の幸福を御祈り申上げます。

さて光町が誕生してより早や四年目となり其の間各種の未収納もあつて三十一年度決算には或程度の赤字を生ずる結果になると思われるが一方地財法に準じて自治体の健全財政へと計画を立て努力中であり新年度は同時に是非知つて頂く法規や、御願事などを編集してお手許にお届けすることゝいたしました。

今や町民一人一人が主人公の世の中であり町の公僕である町役場が町民一人一人に對して町行政のやり方や其の現状を申し上げなければならないのは当然の義務でありますが、町民自らも自分等の代表として働く町役場が何を企てようとしているかについて無関心であつてはなりません。

町役場がどのようにして町行政の意図や施策を町民一人一人に伝えて行くか、又町民自らはどのようにして町行政の内容や施策を知り町行政に支持と協力とをして行けばよいのかということになりますが、この重要な役割を果して貰れるものが広報活動であります。

要は皆さんに親しまれ愛讀されます事が最も大切な必須要件でありますので、編集員一同益々創意と工夫とに努力いたす考でありますが以上新年號の發刊に当り所感の一端を申し上げまして御挨拶と致します。

広報発刊に当つて

光町議長　堀越安治

会計からの支出で賄われ税切実に感ぜられると同時に収納もあつて三十一年度日吉中学校舎の増改築も目下工事中であるが各地区共多年の懸案であつた老朽危険校舎も次々と面目を一新し近代的設計による立派な学校が竣工し投資的事業として東陽屠畜場の増改築町営住宅二十戸の建設も落成見た補助と大部分が起債と一般

要決算には或程度の赤字を生ずる結果になると思われるが一方地財法に準じて自治体の健全財政へと計画を立て努力中であり新年度は同時に是非知つて頂く法規や、御願事などを編集してお手許にお届けすることゝいたしました。

今や町民一人一人が主人公の世の中であり町の公僕である町役場が町民一人一人に對して町行政のやり方や其の現状を申し上げなければならないのは当然の義務でありますが、町民自らも自分等の代表として働く町役場が何を企てようとしているかについて無関心であつてはなりません。

町役場がどのようにして町行政の意図や施策を町民一人一人に伝えて行くか、又町民自らはどのようにして町行政の内容や施策を知り町行政に支持と協力とをして行けばよいのかということになりますが、この重要な役割を果して貰れるものが広報活動であります。

要は皆さんに親しまれ愛讀されます事が最も大切な必須要件でありますので、編集員一同益々創意と工夫とに努力いたす考でありますが以上新年號の發刊に当り所感の一端を申し上げまして御挨拶と致します。

光町役場庁舎全景

町内の皆様、明けましておめでとう存じます。本年も舊に倍して御支援下さいますようお願い致します。

さて懸案の広報発刊がいよ〳〵実現の運びとなりました。町政に携る一人として誠に御同慶に堪えません。

よく「ガラス張りの中の政治」ということが申されますが、誠に至言と存じます。政治を預る者に嘘や、かくしごとや、分け隔てがあつては正しい政治は行われません。今町政の上にどんなことが企画され、どんな事業が行われているかを町中の皆様に知つて頂き、その意図や効果をほんとうに認識して頂くためには、広報の役目は文字通り重且大であります。

この広報活動が少なかつたり、傾いた報道をすると誤解をまねき、時には紛争などが起ります。御承知のとおり町のあらゆる事業は一定の財政の枠の中で行われますので、同じような條件の二つ以上の事業をやろうとする場合、どこから始めるかということを決めるのに、我々議会人は衆智を集め、良識に基いて判断いたします。これらの審議の経過や結果を、できるだけ町の皆様に知つて頂くことは、議会人としてこの上もなく安心であります。今までも私共は機会ある毎に、町政の内容をお知らせすることに努めて参つたつもりでありますが、私が町民の方々と個々にお逢いできる人数というものは誠にわずかであり、それだけに町政のことをお伝えできる回数も知れたものでありました。広報活動は必ずしも印刷したものにのみ限りませんが今後少くとも年四回以上、このように印刷發行しようという役場の意氣込であります。

頂く広報が、真にその使命を達成することを心から念願し、その結果町民の皆様が喜んで町政を納得され、益々御支援して頂けるようのほんとの情況を理解して熱望してやみません。

光町学校教育の現況

合併以来困難な諸條件の下に逐次学校施設は充実しつつあります。これを種々の数字で検討しますと次のような結果が見られます。

◇学校数

中学校	四校
小学校	四校

◇児童生徒数及び学級数

学校名	児童生徒	学級
日吉小	三一七	八
南條小	二九五	七
東陽小	六一七	一三
白浜小	五八九	一三
計	一、八一八	四一
日吉中	一、一五五	四
南條中	一、四九	四
東陽中	二八一	六
白浜中	二七九	六
計	八六四	二〇

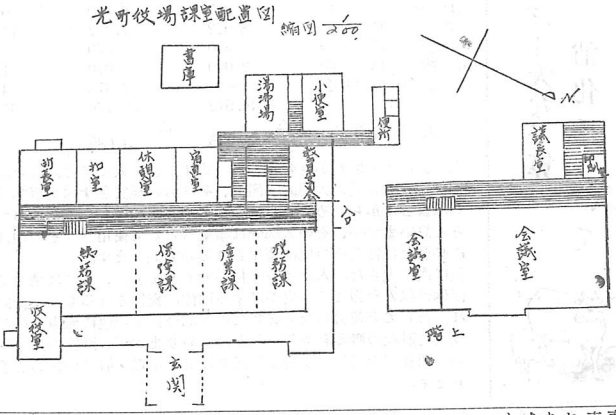
◇教職員数

◎小学校	校長	四
	教助教諭	四六(二)
	養護教諭	一
	事務職員	一
◎中学校	校長	四
	教助教諭	三一(一)
	養護教諭	一
	事務職員	二
計		九二七(一、〇二七)

前記の数字から見ると種々なる不足や矛盾が考えられます。「学校教育法施行規則第十八條小学校の一学級の児童数は五十人以下を標準とする。(中学校に準用)」から計算すると光町内中小学校の学級数は四八学級となり、校長四、教諭五二、中学校で二二学級、校長四教諭三六を常時教育に当らせるべきでありますが、国県の財政上現実には前表の如き教職員数であります。

◎学校舎建物坪数(括弧内は文部省で定める最低必要坪数)

日吉小	三九四	(二八七)
南條小	二七九	(二七八)
東陽小	五六〇	(五二四)
白浜小	四九〇	(五一二)
計	一、七二三(一、六〇一)	
日吉中	二二六	(二〇〇)
南條中	二一二	(二〇〇)
東陽中	二四五	(三一五)
計	九二七	(三二二)



光町納税貯蓄組合活動の現況

光町納税貯蓄組合はその数三十六組合にして、組合員数九〇〇人で光町人口の約七%です。これを地区別に申しますならば東陽地區の十八組合、南條の七組合、白濱の六組合、日吉の五組合となり、この組合への年税賦課額は八百四十四万五千円となり即ち、光町年町税額の四十四%に当ります。

今年度上半期の組合の納税成績は(納期内納入のもの)平均三十六、五%です。(組合外一般の納期内納入のもの平均五%)です。

勿論組合長以下組合員の協力によつて五〇%納入の組合も十組合あります。

従つて組合へは上半期分に十一万六千円余りの報償金が交付されました。

宝米納税組合ではこの上半期報償金を元として組合員全員で一錢の個人負担も徴収せずに紅葉の箱根に大型バスを走らせ一日の清遊に相興じ組合の育成につとめられました。

又他の組合でもこの報償金を有意義に組合活動のためにそれ〴〵使用されて居ります。

光町今年度の納税貯蓄組合育成目標として十組合が生成して安易にしらず〳〵のうちに納税が出来るように御協力を願います。

又環境衛生も非常によくなりますので、傳染病も発生しにくくなりますので、病人も少くなり、明るくたのしく働ける私達の光町となる今年度には納税組合を結成して組合へは上半期分に十一万六千円余りの報償金を元として組合員全員で一錢の個人負担も徴収せずに紅葉の箱根に大型バスを走らせ一日の清遊に相興じ組合の育成につとめられました。

光町全体に納税組合が結成され皆さんの協力によつて税金が納期内に納入される様になりますと、町民の皆様には報償金が還付されるし、町の事業はどん〴〵と出来る様になりますので、町の道路はどん〴〵よくなるだろうし、可愛い子供達の学校もきれいになるし、光町納税貯蓄組合成績は(納期内納入のもの)平均三十六、五%です。(組合外一般の納期内納入のもの平均五%)です。

勿論組合長以下組合員の協力によつて五〇%納入の組合も十組合あります。

従つて組合へは上半期分に十一万六千円余りの報償金が交付されました。

宝米納税組合ではこの上半期報償金を元として組合員全員で一錢の個人負担も徴収せずに紅葉の箱根に大型バスを走らせ一日の清遊に相興じ組合の育成につとめられました。

又他の組合でもこの報償金を有意義に組合活動のためにそれ〴〵使用されて居ります。

光町今年度の納税貯蓄組合育成目標として十組合が生成して安易にしらず〳〵のうちに納税が出来るように御協力を願います。

又環境衛生も非常によくなりますので、傳染病も発生しにくくなりますので、病人も少くなり、明るくたのしく働ける私達の光町となる今年度には納税組合を結

基本選挙人名簿確定

総数　7.405名　——前年に比　74名増——

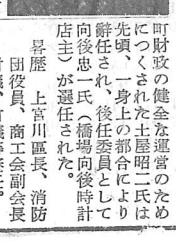
選挙管理委員会は、三十一年九月十五日現在で調製した基本名簿を十二月二十日確定した。

投票區毎の確定人員は次表のとおりである。

投票區	名簿調製時登載人員			其後の死亡者			確定人員		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
日吉第一	365	443	808				365	443	808
〃 第二	369	407	776	1	3	4	368	404	772
南條	606	705	1.311	1	2	3	605	703	1.308
東陽第一	548	651	1.199	1		1	547	651	1.198
〃 第二	283	304	587	1		1	282	304	586
〃 第三	268	315	582		1	1	268	314	582
白浜	1.005	1.149	2.154	1	2	3	1.004	1.147	2.151
計	3.444	3.971	7.417	5	8	13	3.439	3.966	7.405

監査委員として

向後忠一氏選任さる



これまで監査委員として町財政の健全な運営のためにつくされた土屋昭二氏は先頃、一身上の都合により辭任され、後任委員として向後忠一氏(橋場向後時計店主)が選任された。

昇歴　上宮川區長、消防団役員、商工会副会長、村議、町議等歴任。